

熊本県益城町の“にぎわい”づくりに向けて（「創造的復興」を目指して！）

益城町の課題、にぎわいづくりの必要性

- ◆ 震災で、人口は大幅に減少。
町の「にぎわい」や「活力」が失われつつある状況。

H28 → H31 : 5%減
H28 → R46 : 23%減

34,499人 (H28.3) ▶ 32,837人 (H31.3) ⇨ 26,558人 (R46.3)

このまま人口が減少していくと・・・

- 医療・福祉・商業・生活利便施設の減少、就業機会の減少
- 地域コミュニティの希薄化
- 公共交通の縮小・廃止、空家・空地の増加

- ◆ 何も取り組まなければ、**発展の“ビッグチャンス”**（4車線化、区画整理、空港新ターミナル、鉄道整備 等）を逃してしまう。

- ◆ 益城町が持っている強みやポテンシャル、新たに創出される資源を活用して、**交流人口・関係人口の増加**を図り、さらに**労働人口・定住人口の増加**に繋げていくために**“にぎわいづくり”**が必要。

取組方針

ビッグチャンスを逃さないために

- ◆ 住民全員、町・町議会、民間（企業・NPO・団体等）、大学など、**まちに関係する人々全員が戦略的に活動する。**

- 町も必要な支援（人的支援、交付金等を活用した財源支援 等）を行う

- ◆ **益城町の特徴を活かした産業振興、震災遺構を含めた自然と歴史、地域の資源やまち並み等**を活用したまちづくりを推進。

- 農産物などの特産品を**知って・食べて・買って・薦めて**もらう取組み

- **復旧・復興事業で創出した資源**を活かした商工観光の振興

- **豊かな自然や活力ある地域コミュニティ**など“強み”を活かした取組み

「オール益城」で“にぎわい”を創出

関心を持つ人 ↑ 遊びに来る人 ↑ 働く人 ↑ 住む人 ↑

推進体制 ※イメージ

益城町全員の「知恵」と「経験」を結集しながら、「オール益城」で取り組む。
（町民ひとりひとりが考え、取り組んだことを繋ぎ合わせていく。）

推進本部

町長、町議会議長、商工会長、
JA組合長、医師会会長、PTA会長、
金融機関代表、交通事業者代表 等

支援

報告

意見

推進部会

復興まちづくりPT

- PTへの提案、支援
- プロジェクトの進捗管理
- 本部への報告

連携

実行

企業との連携

「民間企業等協働推進事業」

官民協働による町の課題解決
と企業の事業拡大

民間企業・団体

ノウハウ・アイデア・資金 等

「連携協定」↑ CSV 「実証事業」
共有価値の創造

益城町

情報・ネットワーク・人的資源 等

第6次総合計画等の進捗状況を整理し、連携すべき政策分野や項目を抽出する。

発想

地域・民間等の活動

実行

○○プロジェクト ××プロジェクト

・地域住民・医療機関
・交通機関 など

○○PJT

・地域住民・大学
・行政 など

××PJT

△△プロジェクト □□プロジェクト

・農業者・交通機関
・学校 など

△△PJT

・金融機関・農業者
・商業者 など

□□PJT

連携 反映 支援

町の役割

健康づくり

観光振興

スポーツ振興

農業振興

産業振興ビジョン

中心市街地
活性化基本計画

地域再生計画

立地適正化計画

等

課題